



学校教育目標「かかわる つながる よく生きる」

天応小・中学校 学校だより 令和4年9月号

描ける 架ける 翔る



呉市立天応小学校 Tel 0823 (38)7584

呉市立天応中学校 Tel 0823 (38)7545



学校で行う防災教育とは・・・

9月1日は「防災の日」です。

日本では、地震や津波・高潮・台風・豪雨・洪水など、自然災害が少なくありません。そのため、災害に対する認識を深めることを目的に、1960年に防災の日が制定されました。

また、9月1日を含む1週間は「防災週間」とされており、国や各自治体は、これを機会に、防災の知識を高めたり、普及したりする事業を進めています。

学校においても、平成7年の阪神・淡路大震災、平成23年の東日本大震災などの地震災害の教訓や、平成26年豪雨による広島市の土砂災害、平成30年西日本豪雨災害などの豪雨災害の教訓を踏まえ、防災教育を充実させることが求められています。

そして、本中学校区では、次のような防災教育のねらいをふまえ、年間を通して防災教育に取り組んでいます。

- ア 自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができる。(知識、思考・判断)
- イ 地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができる。(危険予測、主体的な行動)
- ウ 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できる。(社会貢献、支援者の基盤)

教科等（各教科、道徳、特別活動）においては、過去の災害に関する日及び防災週間の前後で、指導時期を組み替える等して教科等を関連付けた学習を進めています。

国語：情報の読み取り方、伝え方

社会：身近な地域、日本の気候

算数・数学：データの分析・活用

理科：流水のはたらき、天気とその変化、地震

保体：危険回避、衛生管理、応急手当、救急救命方法

技術：災害時に求められる技術

家庭科：保存食の智慧、避難生活時の食事

道徳：自然への畏敬の念、人の命を救う行動

また、総合的な学習の時間においては、「平成30年7月西日本豪雨」後の現状から、街のためにどうしたいかを考え、社会に還元する単元づくりを進めています。

＜中学校＞災害後の困りごとをSDGsの視点から捉え直したとき私たちにできることは何か？

＜小学校＞天応学園の新しい校舎に込められた思いは何か？

こうした取組を積み重ねていくことで、様々な災害が起こる仕組み、災害を未然防止する備え、危険を回避する行動とは何かなどについて理解が深まり、自分の命は自分で守ること、安全で安心な社会づくりに自らが関わることなど、より良く生きることを考える子供が育つことを願っています。

キャリア・スタート・ウィーク

8月23日（火）～25日（木）の3日間、中学校第2学年の生徒が、キャリア・スタート・ウィークに取り組みました。

このキャリア・スタート・ウィークは、生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力や態度を身に付けることを目的として実施するもので、呉市においては、平成19年から、市内の全中学校2年生が、同一期間に連続5日間の職場体験を行っています。

令和2年度から、体験期間を3日間に短縮して行うこととしておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、2年間中止となっておりました。

本年度は、3年ぶりの実施、そして3日間の体験となりました。

体験場所は、全て天応地区にある公共施設、事業所、ボランティア団体にご協力をいただきました。

生徒を受け入れていただいた事業所の皆さん、大変ありがとうございました。

3日間の体験を終えた生徒の振り返りは、次のとおりです。

【「働くこと」とは何か？】

- 働くとは、「人の力になる」、「人を助けられる」、「役に立つ」ことだと実感しました。
- 二つ意味があります。一つめは社会貢献です。理由は、働くことによって、誰かの生活の支えになるからです。二つめは互いに助け合うことです。理由は、社会は一人ではなく、全員で力を合わせて成り立っていると思ったからです。

【「天応で働く人々」はどのような思いで働いていましたか？】

- 西日本豪雨災害で大きな被害を受けた天応に安心できる環境づくりを心がけたり、天応をより良くしようという思いで働いておられた。
- 利用者さんの笑顔のために働いておられた。それがこの仕事のやりがいだとおっしゃられた。



ALT Cole Shanks （コール）先生 着任（小・中）

9月2日（金）Cole Shanks（コール・シャンクス）先生が、まず、天応小学校に着任され、1年生から6年生まで授業に参加してくださいました。1学期までお世話になったNatsuko Karen Umezaki（ナツコ・カレン・ウメザキ）先生は、夏休み中の8月5日（金）が天応小・中学校で最後の勤務でした。

コール先生は、カナダのご出身で、野球が大好きだそうです。今後、毎週火曜日が中学校、金曜日が小学校の勤務になります。一緒に楽しく英語を学ぶことと思います。



天応中学校・小学校：体罰・セクハラ相談窓口のお知らせ

体罰・セクハラ相談窓口の教職員は、次のとおりです。

中学校：坂口校長・上清教頭・山本教諭・森江養護教諭

小学校：河端校長・加島教頭・佐藤教諭・中木養護教諭です。

気になることがあれば、どの教職員にでも気軽に相談ください。また、家庭でも子供の声に耳を傾けてください。学校と家庭でともに子供を育てていきましょう。